

公衆衛生看護活動展開論

[演習] 第4学年 通年 選択
(保健師養成コース限定必修) 2単位

《履修上の留意事項》2024年度は前期(7月～)と後期(9月～)に開講する。夏期課題を課す。

《担当者名》 明野 聖子 naga-s@hoku-iryo-u.ac.jp 表山 知里 岡田 尚美(非)

【概要】

人々が生活する地域を対象とした支援の理念及び地域全体の健康を維持向上する方法を身につけるために、保健師としての地域全体への活動方法(地域アセスメント、計画、実施、評価)を理解する。

【学修目標】

1. 地域を対象とした支援、地区活動の目的、プロセス及び支援に関する理論を理解し、活用できる。
2. 地域の人々の生活と健康課題を多角的、継続的にアセスメントする。
3. 地域の顕在的、潜在的健康課題を見出す。
4. 地域の健康課題に対する支援を計画・立案する。
5. 活用できる社会資源の理解と利用上の課題、課題解決の方策を開発する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	【第1-7回 7月～8月】 地域を対象とした支援のねらいと理論	(1)地域の特性と健康課題をとらえる意義 (2)地域を理解する方法 地域の概要 コミュニティ・アズ・パートナー・モデル フィールドワーク 地区踏査 動画視聴	明野
2	地域の健康課題の明確化(1)	母子保健(人口動態、施策)	明野
3	地域の健康課題の明確化(2)	成人保健:国民健康・栄養調査、健康日本21(第2次) 特定保健指導、データヘルス計画 がん対策:がんの動向と対策	表山・明野
4	地域の健康課題の明確化(3)	高齢者保健・介護保険	明野・表山
5	地域の健康課題の明確化(4)	精神保健・難病対策・感染症対策	岡田
6	地域の健康課題の明確化(5)	健康危機管理	木村るみ子(特別講師) 表山
7	地域の健康課題の明確化(6)	地区視診(意義、計画) 夏期課題の説明(資料配布、方法)	明野・表山
8	【第7-30回 9月～】 地域の健康課題の解決と対策	夏期課題のフィードバック 地域的アプローチのプロセス	明野・表山
9	地域の概要とコアに関する分析	概要とコア(グループでの報告、共有)	明野・表山
10	地域のサブシステム(1)	物理的環境、経済・産業、政治と行政、 教育、安全と交通(危機管理)	明野・表山
11	地域のサブシステム(2)	コミュニケーション・情報、レクリエーション、 保健医療、社会福祉	明野・表山
12	地域の概要とコアに関する情報の追加・修正	内容の修正(ワーク)	明野・表山
13	健康課題の明確化(1)	母子保健(グループでの報告、共有)	明野・表山
14	健康課題の明確化(2)	成人保健、データヘルス計画 特定健診、特定保健指導、がんの動向と対策	表山・明野
15	健康課題の明確化(3)	高齢者保健 人口動態、死因、介護保険	明野・表山
16	健康課題の明確化(4)	高齢者保健 高齢者保健福祉計画、 介護予防、認知症対策、地域包括ケアシステム	明野・表山
17	健康課題の明確化(5)	精神保健、自殺予防	明野・表山
18	健康課題の明確化(6)	難病対策、健康危機管理、感染症対策	明野・表山
19	地区踏査計画(1)	地区踏査の意義と方法	明野・表山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		地域保健に関する地域の組織、集団の理解 資料と地区踏査からの健康課題明確化と解決方策	
20	地区踏査計画(2)	地区踏査計画 【課題】様式10-1	明野・表山
21	地区踏査計画(3)	地区踏査計画 【課題】様式11	明野・表山
22	地域アセスメントと健康課題の統合 (1)	地域の概要とコアの修正	明野・表山
23	地域アセスメントと健康課題の統合 (2)	サブシステムの修正	明野・表山
24	地域アセスメントと健康課題の統合 (3)	健康課題の修正	明野・表山
25	地域アセスメントと健康課題の統合 (4)	健康課題の修正	明野・表山
26	地域アセスメントと健康課題の統合 (5)	地区踏査計画の修正、報告準備	明野・表山
27	地域アセスメントのまとめ(1)	地域アセスメントと地区踏査計画の報告	明野・表山
28	地域アセスメントのまとめ(2)	地域アセスメントと地区踏査計画の報告	明野・表山
29	地域アセスメントのまとめ(3)	報告資料の精査と修正	明野・表山
30	地域アセスメントのまとめ(4)	学習目標の確認、単元テスト	明野・表山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- 1.7月単元テスト《29点》
 - 2.夏期地区視診《10点》
 - 3.夏期課題・健康課題の明確化《22点》
 - 4.グループワーク後の修正資料《13点》
 - 5.地区踏査計画《14点》
 - 6.まとめのテスト《12点》
- 上記3～4の項目内訳：(1)地域の概要・コア4項目、(2)地域のサブシステム8項目、(3)地域の健康課題（母子、成人、高齢者、精神、難病、感染症）

【教科書】

- 1)佐伯和子他編著：地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド第2版．医歯薬出版株式会社
- 2)佐伯和子編著：公衆衛生看護の方法と技術．医歯薬出版株式会社

【参考書】

- 1)金川克子：地域看護診断、技術と実際．東京大学出版会
- 2)金川克子監訳：コミュニティ・アズ・パートナー・モデル、地域看護学の理論と実際．医学書院

【備考】

1. 実習先自治体からの地域に関する資料を用いる。
2. パソコンで、ワード、エクセルによる文書の作成に習熟しておくことが望ましい。
3. Google Classroomを利用して、課題の提示・提出、記録様式の配信等を行う。
4. 学習目標の達成度の把握には、Google Formを活用する。

【学修の準備】

学生は各々準備してきた課題をもとに講義との照合、グループディスカッションに参加する。

- 1) 実習先自治体のホームページ閲覧と要点の整理：2時間程度
- 2) 事前課題（ワークシート記入、情報収集、図表作成、説明文記述ほか）：1～4時間程度
- 3) 資料の収集とファイリング：30分程度

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

明野聖子（保健師）、表山知里（保健師）、岡田尚美（保健師）

【実務経験を活かした教育内容】

保健師としての実践を踏まえて、地域全体のアセスメント、計画、実施、評価を具体的に展開するスキルアップを図る。